

科目名	日本の思想	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	相原 耕作		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-2-340003	国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体の問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること			
授業の目的	<p>本講義は、「異質な他者」との出会いを求めて、日本の過去の思想と格闘することを目的とします。日本には、後進国として先進国の文明を輸入し続けてきた歴史があり、外来の異質な思想との格闘のなかから、新たな思想も産み出されてきました。そのような営みについて、江戸時代後期から明治時代の政治思想を中心に考えます。国際社会で会う「異質な他者」を理解するための訓練にもなります。</p>				
学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「異質な他者」を拒絶するのではなく、彼らの思考の道筋を辿り、彼らとともに考えることができる。 ・「異質な他者」の視点に立って、自分の「当たり前」を見直し、様々な角度から考えることができる。 				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	イントロダクション／「日本語」について考える-後進国としての「日本」
第2回	「まつりごと」-日本在来の「政治」観
第3回	「政は正なり」-儒学の「政治」観

第4回	「おおやけ」と「わたくし」-公共性をめぐって
第5回	徳川政権のクレデンダとミランダ-「天下太平」の秘訣
第6回	近世日本の外交関係-華夷秩序と主権国家体制
第7回	近世後期の思想と西洋（1）後期水戸学
第8回	近世後期の思想と西洋（2）幕末の朱子学
第9回	近代国家の形成と江戸思想（1）「文明civilization」をめぐって
第10回	近代国家の形成と江戸思想（2）「自由」をめぐって
第11回	近代国家の形成と江戸思想（3）「国民nation」の創出-ナショナリズム
第12回	近代国家の形成と江戸思想（4）武士なき「武士道」の成立
第13回	憲法と政治（1）「公議輿論」と民間の憲法構想

第14回	憲法と政治（2）明治憲法と大正デモクラシー
第15回	憲法と政治（3）明治憲法と日本国憲法
第16回	試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。下記の参考書と配付資料の予習用の欄を利用した学習。
【復習】時間・内容	2時間。下記の参考書と配付資料の復習用の欄を利用した学習。

成績評価	
評価基準・方法	定期試験80%、平常点20%。定期試験は、考える力を見るための本格的な論述試験です。平常点は、毎時間、提出するコメントペーパーに基づいてつけます。
フィードバック方法	コメントペーパーに対して適宜、口頭でコメントします。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	教科書は使用しません。参考書として、渡辺浩『日本政治思想史 [十七～十九世紀]』（東京大学出版会、2010年）、原武史『日本政治思想史』（放送大学、2017年）を挙げておきます。予習・復習に利用して下さい。
受講上の留意点等	資料を配付して講義しますが、ノートをしっかり作成して下さい。また、講義中に資料の朗読や意見を求める場合があります。その際は快く応じて下さい。
JABEE	